

学校教育目標

合言葉「元気 やる気 思いやりのある 雀央っ子」

自主・自立の精神と豊かな心をもった 心身共に健康な児童の育成

目指す児童像：明るく元気でがんばる子ども 進んで学びよく考える子ども 心豊かで思いやりのある子ども

児童・地域の実態

令和8年度 学校経営計画

学校全体（教職員 子ども 家庭 地域）で目標を共有

重点課題：よくきく（聞く・聴く・訊く）

【元気】

明るく元気でがんばる子ども

生涯に渡って心身ともに健康で安全な生活を送るために、様々な情報をよくきき、自ら考え行動できる児童を育成する。

- 運動に親しみ、運動量を確保する活動を工夫する。
- 健康を脅かすさまざまな要因の理解と健康を管理する能力を育成する。
- 食事の重要性や栄養バランス等望ましい食習慣の定着を図る指導の充実を図る。
- 危険を予測し、自身の安全を守るための判断力や実践力を育成する。

【やる気】

進んで学びよく考える子ども

教師の話をよくきき、友達の意見もよくきいて、課題を解決しながら自分の学びを深めていこうとする児童を育成する。

- ねらいを明確にし、個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指した授業づくりに努める。
- 授業の終わりに、ねらいが実現されたか振り返る時間を確保し次の授業改善に生かす。
- 特別支援教育の視点も取り入れ、「よさを伸ばす指導」の充実を図る。
- 教科等横断的な視点に立って授業計画を立てる。

【思いやり】

心豊かで思いやりのある子ども

相手の話をよくきき、思いを伝え合い、自分も相手も大切にしてい互いを認め合うことができる児童を育成する。

- 認め、褒め、励ます指導を行い、自信や自己肯定感・自己有用感を育む。
- 児童への指導・支援方針について共通理解を図る。
- 一人ひとりの特性や困難さに応じた適切な指導を行う。
- 自主的な行動を促す機会や場を設定する。
- ネットトラブル未然防止のための指導を行う。

「雀央スタンダード」を全校で共有・活用する

学校研究課題：自ら考え、互いに学び合う児童の育成

～個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指した授業づくり～

特色ある学校づくり：地域と連携した WE LOVE 雀宮（雀央サミット）

地域の教育資源を活用した学習の展開

【教職員の協働性の構築】

- ◇実践や研修による授業力向上
- ◇教職員の連携（チーム雀央小）
- ◇働き方改革の推進

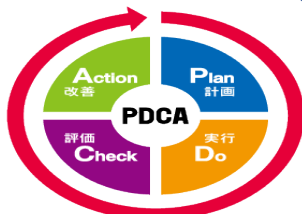
【家庭・地域との連携・協働】

- ◇PTA・地域協議会等との連携
- ◇ボランティア活動の充実
- ◇家庭・地域との情報共有

【教育環境の整備】

- ◇安心安全な学校
- ◇教材教具の充実
- ◇予算の有効活用

教育課程



- 目指す児童像にせまるための教育活動を全職員で展開
- 年間行事や指導内容を俯瞰し 効果を高める活動の計画・実施
- 全職員の共通理解に基づいた共通実践：チーム雀央小
- 各種調査による客観評価とPDCAによる改善